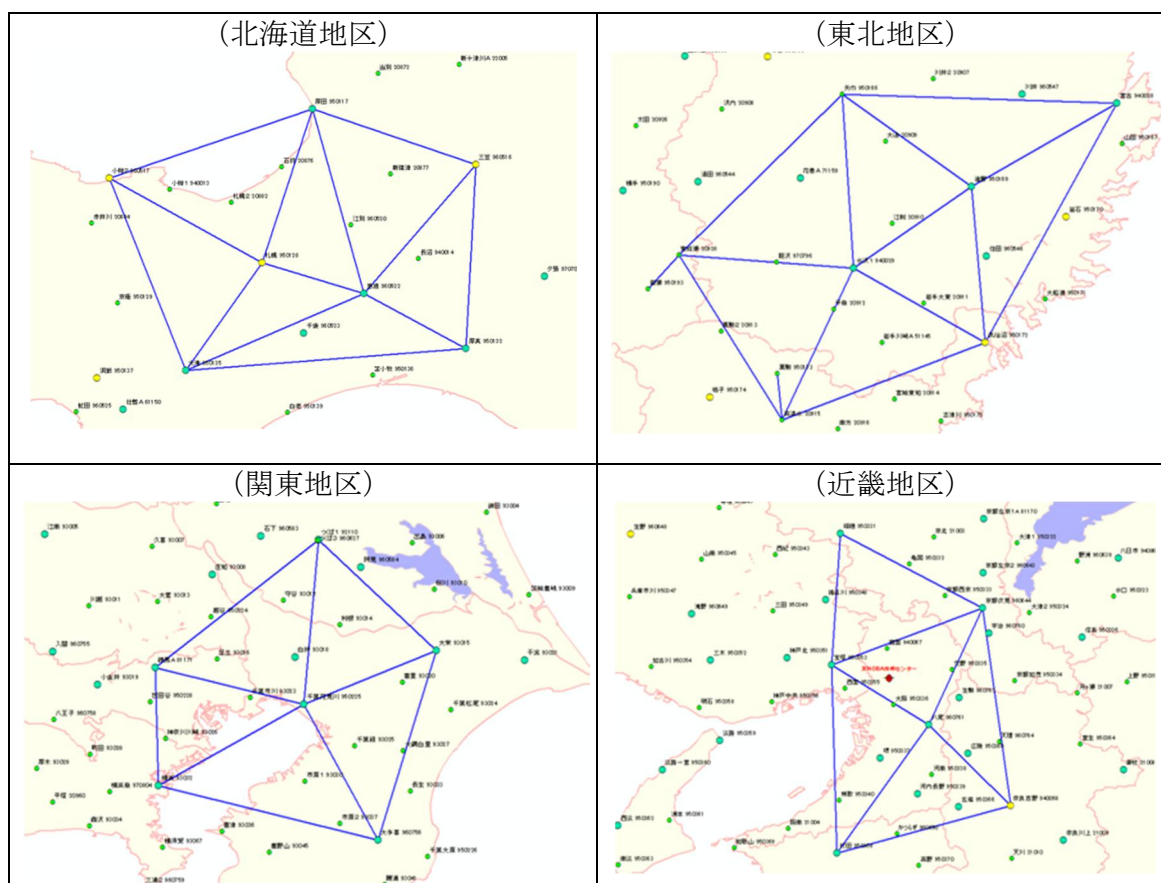


マルチGNSS実証実験（利用検証）の実施について ～実験参加ご案内（一般公募）～

当協議会では国土地理院の協力を頂き、マルチGNSS（グロナスデータを含む）によるネットワーク型RTK法について、測位の精度及び測位の効果の確認を行う実証実験に取り組んでいます。

実証実験では、配信事業者による補正情報配信の可否及び測量機器メーカー等による測位精度を確認する実験（以下、初期検証）を実施し、補正情報の品質と定点観測や移動体における「配信が正しく実行できるか」についてその効果を確認できましたので、今後は広範な分野でのマルチGNSSの効果を確認して頂く実験（以下、利用検証）を実施いたします。

一般公募の利用検証では、北海道地区、東北地区、関東地区、近畿地区（4地区）において、ネットワーク型RTK法の補正情報（グロナスデータを含む）の提供を実施いたします。



注1：電子基準点の配信状況によっては、配点が変更になる場合があります。

注2：東北地区は、実証実験の地区拡大を予定しています。

1. 実証実験ネットワーク型RTK法（マルチGNSS）データの提供

当協議会から利用検証に必要なネットワーク型RTK法（マルチGNSS）データ及びこれら利用検証データの利用に必要な情報を提供いたします。

- ①N t r i p環境によるリアルタイムデータ提供
- ②N t r i pキャスター情報（IPアドレス又はドメイン名）

③マウントポイント名

④ID、パスワード

⑤他必要な情報

提供アカウント数は原則として1実験者1つのIDで1万円/月（定額：消費税抜き）といたします。なお、複数のIDが必要な場合は実験者と当協議会において内容を協議し、複数IDの利用を当協議会が承諾した場合の費用は、追加IDは1つにつき1万円/月（定額：消費税抜き）といたします。

2. 実証実験参加（実施）条件

①GNSS受信機メーカー等のサポートを得ることができること

②補正情報の受信に必要な通信装置や観測機材を準備できること

③当協議会に実験計画書を提出し、実験結果を報告できること

④補正情報等を利用するための費用を負担すること（1万円/月 定額：税抜き）

⑤実験結果は当協議会との共有（発表や投稿等等）を承諾できること

⑥実験結果を当協議会以外の者に知らせようとするときは、あらかじめ文書により当協議会の同意を得ること

⑦実証実験の経過を工程に則して適宜当協議会に報告できること

⑧現場作業の安全確保や関係法令を遵守できること

3. 実証実験参加申込書記載事項(測量や工事実施計画書レベルで記入)

①実験名称：

②団体(個人)名：

③連絡先：電話番号、メールアドレス

④代表者：

⑤構成員：

⑥実証実験内容：

⑦実証実験構成：機材(GNSS受信機とコントローラー、通信手段など)

⑧実証実験期間：

⑨実証実験工程：

⑩実証実験場所：

⑪安全対策：

4. 実証実験期間等

①実証実験期間：自 平成24年6月1日 至 平成24年7月31日

②データ提供者：電子基準点を利用したリアルタイム測位推進協議会

③アクセス先：1)日本GPSデータサービス（VRS）

2)株式会社ジェノバ（VRS、FKP）

※アクセスを行うための通信費用等は自己負担

5. 参加申込書提出先

電子基準点を利用したリアルタイム測位推進協議会

事務局（社団法人日本測量協会測量技術センター測地基準情報部内）

〒173-0004 東京都板橋区板橋 1-48-12 測量会館第2号館

TEL：03-3579-6816 FAX：03-3579-6949

E-mail：data@geo.or.jp、担当者：雨宮秀雄・上田重彦

以上